

港区立高輪台小学校
平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

- 心もからだも健康な子
- ・すすんで学び がんばる子
- ・責任を果たし 助け合う子
- ・美しいものを 大切にする子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- 楽しく分かる授業作りを進め、基礎・基本となる学力の確実な定着を目指す。
- 新学習指導要領を踏まえた授業改善に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、課題解決型授業を行い、学習に対する主体性を高める。
 - 校内研究を充実させ、主に国語の学習を通して、思考力・判断力・表現力を高める。
 - P D C Aのサイクルで学習内容の計画的な指導、適切な時数管理を行う。
 - 少人数指導によるD層の減少を目指す。

昨年度の成果と課題

- 学校図書館司書やRASとの連携により、様々な読書活動を取り入れ、個々の読書量や読書の幅がさらに広がった。
- 基礎的な学習を積み重ねていくことで、漢字検定では目標級の合格を達成できた児童が多くいた。
- 様々な教科・領域で、ICT機器を効果的に活用し、分かりやすい授業づくりを目指すことができた。さらに、活用実践について記録を蓄積し、共有化していきたい。
- 評価規準を受け、具体的な基準を適切に設定する必要がある。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動の充実 ○土曜日授業の活用 ○週案簿による計画と記録の記入 ○全校での漢字検定実施 ○オリンピック・パラリンピック教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の確実な定着 ▲「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動の充実 ○学習方法の定着 ○学び合いを重視した指導の充実 ○ICT機器の活用 ▲プログラミング教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考や表現に関する細やかな評価のあり方 ○通知表における多様な観点からの表記 ○評価規準に基づいた指導と評価の一体化 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善に向けた授業分析と研究協議の充実 ○ICT機器の活用 ▲互いの研修成果の共有・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部人材の積極的な活用 ○保幼小および幼小中一貫教育の充実 ○家庭や地域への情報発信の充実

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書や読み聞かせ活動の充実 ○読書週間における全校での取組 ○土曜日授業の効率的運用 ○学習内容の計画的な指導と適切な時数管理 ○漢字学習の充実 ○パラリンピアン等を講師に迎える授業 ☆新学習指導要領の趣旨の理解と移行措置の確実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○3～6年算数科における少人数指導の実施 ○東京ベーシックドリルの活用 ○自ら課題を見出し、見通しをもって課題解決を図り、調べた結果を整理し考察する主体的・協働的な学習の展開 ▲思考ツールの活用における論理的思考力・表現力の育成 ○ノート指導の徹底 ○児童相互の対話を導く学習過程、展開の工夫 ○ICT機器（PC・タブレット端末・デジタル教科書等）の効果的な活用 ▲ペッパーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の振り返りや適切な評価 ▲児童一人一人の学習活動の見取りと評価 ○日常的な評価の積み重ね ○小テストの実施等による評価と指導 ☆評価規準を受けた具体的な基準の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○視点を明確にし、小グループを活用した研究協議 ○全教員参加による指導案検討 ○ICT機器（PC・タブレット端末・デジタル教科書等）の活用実践・検討 ▲研修成果のデータ化による活用 ☆思考力・判断力・表現力を高めるための授業デザインの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域支援コーディネーターや読み聞かせボランティアによる活動の充実 ☆地域支援コーディネーターの効果的な活用 ○地域の保育園・幼稚園や中学校・高等学校・大学との交流活動 ○学校公開・授業公開の実施 ○学校評議員会や学校説明会、保護者会での説明 ○年間計画に基づいたホームページの更新
---	---	--	---	--

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組